



『#マジゲキ』

2023年夏、日本工学院専門学校八王子キャンパスで行われた『#マジゲキ』。シェイクスピアの戯曲『夏の夜の夢』を、演劇が大好きな高校生が演じました。企画テーマく高校生とプロの演劇人が一緒に本気で演劇をつくる11日間の通り、ディレクター・演出家・脚本家の早坂 彩さんと、俳優の武井希未さん、高校生、先生が一緒に本気で作品をつくりました。



参加した高校生
水野さん

高校生とプロが交わり
本気でぶつかる
プライスレスな時間

あなたの街にも
やつてくるかも?
街や企業がヒーローに!



『むかしむかし、 あるお家に』

固定座席での舞台鑑賞ではなく、観客自ら会場内を移動し、物語の一部として作品に参加するイマーシブ(没入型)形式の作品。“妖怪”たちの困りごとに鑑賞者が手を貸すことによって進行するユニークなストーリーは、元気いっぱいの子どもも大人も一緒に楽しめます。人数や場所に合わせた公演が可能で、八王子芸術祭では星槎国際高等学校で上演。ご依頼いただいた成城学園初等学校では、芸術鑑賞教室として公演を行いました。

没入型の演劇体験
和室で！教室で！体育館で！？
身近な場所を舞台に

『多摩ニュータウン ヒーロー部』

4つの市(八王子・多摩・町田・稲城)にまたがる多摩ニュータウンのご当地ヒーローは、地元育ちのメンバー・奥山樹生さんの発案。ショーとして成立する構成を考え、ヒーロースーツに詳しい外部の方に手を借りたり、オリジナル主題歌を作曲家の五十部裕明さんに依頼したりと、色々な人の力を結集しています。「2024八王子ふれあいこどもまつり」にて、八王子オクトーレで初のヒーローショーを開催し大好評! 今後もご当地ヒーローは増える予定です。

あなたの街にも
やつてくるかも?
街や企業がヒーローに!

演劇ネットワークぱちぱちとは?
<八王子から発信する、演劇を続けるための環境作り>のミッションのもと、学生や、学校卒業後も演劇を続けたいと希望する18~25歳の若者が活動しています。「劇団」ではなく「ネットワーク」なのは、「自分らしい演劇の継続方」を考えたり試したりできる場だから。参加できるときにその都度集う、そんな自分に合った関わり方やつながり方ができる場。演劇に興味のある若者が、ゆるやかにつながれるプラットホームなのです。

セリフに地元やお店、ふれあいこどもまつりの紹介を巧みに取り入れ、手作り感満載の衣装、歌や踊り、効果音や音楽、MCなども大好評でした。地域密着、観客参加型で子どもたちにも親しみやすい内容でした。

カタチを変えて、あなたのものとへ!

演劇公演にはしっかりとした劇場設備が必要というイメージがありますが、ぱちぱちの魅力は、フットワーク軽く八王子エリアを中心にあちこちへ赴き、その場に応じたカタチで多彩なジャンルや切り口の演劇ができることです。演劇を通して地域との交流も行われ、演じる人も観る人も、関わる人たちで共に作品をつくり上げていくぱちぱちは、まさに演劇でコミュニティをつなぐ“ネットワーク”です。

『きょうげんあそび』

2021年、ぱちぱち初の演劇公演として幼稚園で初演。伝統芸能として親しまれてきた狂言を演劇的に仕立てたシリーズ。演目のもつおかしさはそのままに、難しい言い回しをやさしくし、1演目1分程度に短くするなど、幼稚園児でも分かりやすい内容です。出演者と観客が交流しながら劇世界を楽しむことができ、好きな曲を取り入れたり、ゲームやダンス要素を増やすなど、要望に合わせてアレンジができます。

新発想の伝統芸能

子どもが参加して楽しめる！

詳細は公式
ホームページ
でチェック!

コロナ禍で外に行けない中、園内でできるイベントを探していたところ、快く要望に応えていただきました!子どもたちも先生も、とても喜んでくれて良い思い出が作られました!

幼稚園PTA
Rさん

-2-

3-